

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	構造連成小委員会	主 査 名：登坂 宣好 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会	委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型空間構造物の流体および地盤との連成系に対して、構造物の性能評価および問題点を探る。 ・実験と数値計算等による構造物の性能評価の係わりを検討する。 ・設計に反映させる合理的でかつ実用的な評価法を探る。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	登坂宣好(日大) 西村敏雄(日大名誉教授) 松井徹哉(名城大), 皆川洋一(鹿児島大) 福住忠裕(神戸大) 神園勝彦(日大) 濱本卓司(武蔵工大) 遠藤龍司(職能大) 大嶋昌巳(千代田アドバンスドソリューションズ) 高野真一郎(大林組) 近藤典夫(日大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2005 年度予算	50000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地盤を伝わる環境振動予測システムの機能とその性能が示された。 2. 浮屋根を有する液体貯槽タンクの地震応答の解析手法が報告された。 3. 浮遊式海洋構造物の連成解析手法が報告された。 4. 数値手法による評価法については概ね議論がされ、満足の良く内容であった。
委員会活動の問題点・課題	1. 小委員会での " 風と構造物との連成実験解析 " について討議を予定していたが、話題提供者のスケジュールが合わないため、新年度にこのテーマについて集中的に討議したい。